

○：今年はス波郡 町歴史民俗資料館（0 建郡1200年、来 19・697・370 年は徳丹城造営12 4）へ。

00年。矢巾町教委 ○：5、6の両日、

による本年度の徳丹城 滝沢村で開かれた国際 跡発掘調査では、北西 啄木学会2011盛岡 部から南北棟の掘っ立 大会はインド、台湾、 て柱建物跡2棟が出 ロシアの研究者が参 加。インド・ネルー大 土。北西官衝が存在し 教授のP・A・ジョー した可能性が浮かび上 教授のP・A・ジョー

る成果を挙げた。

現地説明会はこのほ

ど開かれ、50人が参加。

今回の調査

成果に加

え、徳丹城

の歴史にも

理解を深め

た。

学芸余聞

古代史研

究の第一人

者、平川南

さん（国立歴史民俗博

物館長）の講演会「徳

丹城と古代日本」ス波

郡建郡1200年」は

13日午後1時半から町

公民館で開かれる。入

場無料。問い合わせは



徳丹城跡の発掘調査現 地説明会

までに現地でも出版する 予定という。09年の函 館大会に続く参加で

「今後でもできるだけ参

加したい」と意欲的だ。

○：研究発表では、

桜出版（東京都）の編 集主幹山田武秋さん （紫波町出身）が寺の 子として育った啄木の 宗教的視点を考察し た。

「一握の砂」の巻頭

10首の最後「大といふ

字を百あまり／砂に書

き／死ぬことをやめて

帰り来れり」の「大」

については「道元の『典

座教訓』の教えが反映



山田武秋さん

された」などと、宗教

や思想などを作品世界

の糧としていたことを

挙げた。

題名に込めた思いに

ついては「どんな絶望

の中にあってもたった

一粒のなみだを流す心

さえ残っていれば人は

救われ、立ちあがり、

生きていけるといふこ

とではなかったか」と

指摘。「震災で苦しみ

を抱えている今こそ多

くの方に啄木に親しん

でほしい」と訴えた。

インドの言語で「一握の砂」

ラム語に訳し た石川啄木の 「一握の砂」を 紹介した。

啄木と同じ3

行書きにできる

のが特徴で「は

たらけど／はた

らけど猶わが生

活楽にならざり

／ちつと手を見

る」などを披露

した。「はたら

けど」の繰り返し

しを同じリズムで表



P・A・ジョー ジン

現。「英訳は日本語の オリジナルとかけ離れ ている感じがする」と 意味を表す英訳と違う 味わいが親しみやす い。

インドの言語で55 1首すべてを訳したの は初めてで、来年3月